

～ウェアブルカメラ等のシステムを触りながらの

体験学習会と意見交換を行いました～

～六甲砂防事務所～



国土交通省の働き方改革の一環である“遠隔臨場システム”の体験学習会を開催しました。当日は、本局企画部や建災防兵庫県支部などが参加し、事務所管内の工事現場で先行して進められているライト工業株式会社のご協力を得て実施しました。

概要

日時：令和2年9月16日（木） 13：30～16：30

場所：六甲砂防事務所

参加人数：約50名（近畿地方整備局、六甲砂防事務所、受注業者、報道機関等）



デモンストレーション
(渦森台地区3工区斜面对策工事での材料確認)



整備局 企画部技術管理課
課長補佐 挨拶



事務所長 挨拶

冒頭、光永事務所長から「遠隔臨場は現場における立会にかかる時間の削減などの効率化がある。ICTが進むと、現場をめぐる環境が変わってくる。可能なことから、現場の効率化に向けて取組んでほしい。」と挨拶があり、その後、先行して採用している企業から、活用実績などについて説明を受け、続いて行われた体験学習会では、発注者役と受注者役に分かれて事前に行われたデモンストレーションに沿って材料確認を行い、遠隔臨場の体験をしました。

遠隔臨場システムの体験学習 (事務所会議室 ↔ 事務所駐車場)



事務所駐車場

本日の確認していた材料は主アンカーD19mm、L800mm、10本になります。全景を映します。



事務所会議室

全景、確認しました。主アンカーの本数がわかるよう側面を映してください。

○参加者の感想

- ・普段、体験できないようなことが出来て、有意義でした。
 - ・実際の機器に触れることが出来て良かった。
 - ・コロナ等の問題にも効果的だと感じた。
- 自社の職場においても予算面を考え、前向きに考えたい
- ・遠く離れた現場からでも現場と繋がり材料確認が出来たのは良いシステムだと思いました。
- これからは、遠隔臨場に限らず、IT技術が導入されてくると思うので、しっかり勉強して積極的に取入れていきたいです。
- ・設計変更等による費用補助があれば、考えたい。当社の現場が、移動に時間を要するため。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

